

$$\log |x+1| \quad |x| < 1$$

↓ 微分

$$\frac{1}{x+1} = 1 - x + x^2 - x^3 + \dots$$

↓

$$\int \frac{1}{x+1} dx = \log|x+1| + C$$

等比級数

$$\int (1 - x + x^2 - x^3 + \dots) dx$$

$$= x - \frac{x^2}{2} + \frac{x^3}{3} - \frac{x^4}{4} + \dots + C'$$

不定積分をしたら、右辺と左辺は等しいと限定しない!

数学的帰納法

$$\frac{1}{x+1} = a_0 + a_1 x + a_2 x^2 + a_3 x^3 + \dots$$

$$1 = (x+1)(a_0 + a_1 x + a_2 x^2 + a_3 x^3 + \dots)$$

展開すると

$$a_0 = 1$$

$$x \text{ の 1 次の項 } 0 = a_0 + a_1 \text{ より } a_1 = -1$$

$$x \text{ の 2 次の項 } 0 = a_1 + a_2 \text{ より } a_2 = 1$$

⋮

report IV

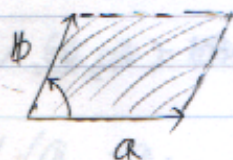
 $\frac{1}{x+1}$ の等比級数の n 次の項、
 a_n を数学的帰納法で求める。

report V

 $\sin x$ のテーラー展開を不定積分して、
 $-\cos x$ で求める

線形代数

平面上的ベクトル

 a と b で張られる平行四辺形の面積を $S(a, b)$ とする

符号付きの

反時計回り +
時計回り -

$$S(a, a) = 0$$

$$1) S(a, b) = -S(b, a)$$

$$2) \begin{cases} S(\alpha a, b) = \alpha S(a, b) \\ S(a, \beta b) = \beta S(a, b) \end{cases} \quad \alpha, \beta \text{ は定数}$$

$$3) \begin{cases} S(a, b_1 + b_2) = S(a, b_1) + S(a, b_2) \\ S(a_1 + a_2, b) = S(a_1, b) + S(a_2, b) \end{cases}$$

1) を交代性, 2) と 3) を二重線形性

$$a = e_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad b = e_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix} \quad \text{と} \quad \text{お} \quad \text{し} \quad \text{す}$$

$$S(e_1, e_2) = 1$$

$$S(e_1, e_1) = -1$$

$$S(e_1, e_1) = S(e_2, e_2) = 0$$

$$a = \begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \end{pmatrix}$$

$$b = \begin{pmatrix} b_1 \\ b_2 \end{pmatrix}$$

のとき

$$a = a_1 e_1 + a_2 e_2 = b_1 e_1 + b_2 e_2 \quad \text{と} \quad \text{お} \quad \text{し} \quad \text{す}$$

$$S(a, b) = S(a_1 e_1 + a_2 e_2, b_1 e_1 + b_2 e_2)$$

$$= S(a_1 e_1, b_1 e_1) + S(a_1 e_1, b_2 e_2)$$

$$+ S(a_2 e_2, b_1 e_1) + S(a_2 e_2, b_2 e_2)$$

$$= a_1 b_1 S(e_1, e_1) + a_1 b_2 S(e_1, e_2)$$

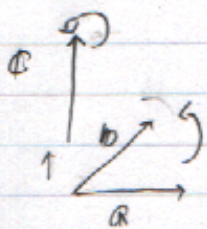
$$+ a_2 b_1 S(e_2, e_1) + a_2 b_2 S(e_2, e_2)$$

$$= a_1 b_2 - a_2 b_1$$

$$\begin{pmatrix} a_1 & b_1 \\ a_2 & b_2 \end{pmatrix}$$

の行列式

空間のベクトル



$$V(a, b, c)$$

← a, b, c で張る平行六面体の体積 (符号あり)

平面 a, b を右ネジの方向に回して c へきたとき

$$\begin{cases} \text{右手系} & + \\ \text{左手系} & - \end{cases}$$

$$1) V(a, b, c) = -V(c, b, a) \quad \text{交代性}$$

$$2) V(\alpha a, b, c) = \alpha V(a, b, c)$$

$$3) V(a, a_2, b, c) = V(a, b, c) + V(a_2, b, c) \quad \text{三重線形性}$$

$$4) V(e_1, e_2, e_3) = 1$$

$$a = \begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{pmatrix} = a_1 e_1 + a_2 e_2 + a_3 e_3$$

$$b = \begin{pmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{pmatrix} = b_1 e_1 + b_2 e_2 + b_3 e_3$$

$$c = \begin{pmatrix} c_1 \\ c_2 \\ c_3 \end{pmatrix} = c_1 e_1 + c_2 e_2 + c_3 e_3 \quad \text{etc.}$$

$V(a, b, c)$ を求める.

次回追加がやる.

6回目

西村先生・みなさま:

今日の4限、「基礎数学」(西村先生)の6回目を聴講しました。
出席者は、**80名** + **TA1名** (桑田) + 教員**1名** (私) です。ちなみに
昨年度の「基礎数学」6回め講義の出席者は**38名**でした。

前回から**11名**、減少しています。おそらく今日から始まる「やど祭」
のためだと思います。これは昨年度もそうで、**5回め**から**6回め**にかけて、
がくつと人数が減っています。その次回に少し回復しますが、以前の
レベルには、ついに回復しませんでした。

数学や物理学などの授業は、1回でも休むと、キャッチアップする
のは極めて難しくなる、ということは、既に言っているのですが。
なお、当然ながら、個別に「前回休んだから教えてください」と
質問に来て、相手にしない方針です。

さて今回の内容は、
- $\ln(1+x)$ のテーラー展開
- 「平行四辺形の符号つき面積」としての行列式
- 「平行六面体の符号つき体積」
などです。レポート課題が出て、提出は来週月曜日です。

--

奈佐原 顕郎 (旧姓西田)
筑波大学農林工学系